

会 師 医 小 牧 市 苦  
医 師  
浅 利 正 明

# 帯 状 疱 疹

帯状疱疹は、ウイルスによつて神経と皮膚が侵され、神経痛とおなじ部位の皮膚に発疹が起る病氣です。

このウイルスは幼児に水痘（みずぼうそう）を、水痘の経験者の大人には、帯状疱疹を引き起こします。

体力や抵抗力の低下をきたす原因、つまり老齢やがんなどの病氣が帯状疱疹の発病の引き金

になります。

帯状疱疹が水痘と最も違うのは、激しい痛みを伴うことです。

この病氣の発病は、ある日突然に、原因不明の痛みがおこり、その数日後に、皮膚に水泡が現れるのが大部分です。

その後、約二、三週間痛みが続きます。

帯状疱疹の最も困ることは、皮膚の水疱が治っても、その後

## 効果的な神経ブロック療法

数年もしくは、数十年も続く病変部の神経痛（帯状疱疹後神経痛）が一部の人に残ることです。帯状疱疹後神経痛は、現在の進んだ医学でも完治させるのが難しい神経痛のひとつです。

この病氣にもっとも効果のある治療方法が神経ブロックです。

神経ブロックとは、局所麻酔剤を用い、侵された神経を一時

的に遮断し、痛みを取り除き、その部位の血流を改善させる治療方法です。

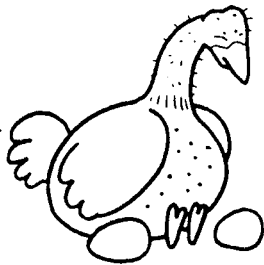
神経ブロックを行うと現在の帯状疱疹の痛みがなくなり、さらに、将来に残る帯状疱疹後神経痛の予防ができます。

急性期の帯状疱疹の痛みを取り除くこと、激しい痛みを経験させないことが、帯状疱疹後神経痛の発生の予防に大切なこと

です。

年齢が高くなるにつれ、帯状疱疹にかかりやすく、また帯状疱疹後神経痛に移行しやすい。だから、特に中年の人や高齢者は早期に治療を開始したほうがよいでしょう。

帯状疱疹を思わせる痛みのある汗う湿疹や水疱がでた人は、早めに麻酔科のある病院で受診するのが良いと思います。



お問合せは、苦小牧市医師会  
電話 33-4720へ